

一 次の文章を読み、後の間に答えて下さい。

※ カギ括弧・句読点などの記号も一字と数えます。

最近のデータを見ても、「和食」の世界的な広がりは驚くほどだ。むしろ日本人の方が①この実態を知らないといつてもいいだろう。『日経ビジネス』(二〇一三年七月一五日号)には次のようなデータが紹介されている。

「世界の日本食レストランの数は、この三年で二倍近く（三万店が五万五〇〇〇店に）増加」「従来の寿司だけでなくラーメン、カレーなどにもすそ野が広がる」

「好きでよく外食する外国料理は？」の質問に、イタリアと中国では四分の一の人が『和食』と答え、韓国、フランス、香港でもナンバー一

「二〇〇二年時点で二・二兆円だった日本食の市場規模は、二〇二〇年には最大六兆円に」

様々な業界で「ガラパゴス化」「衰退化」が言われる日本経済にあって、まさに「食」だけは別世界の勢いなのだ。

〔A〕、その躍進の秘密はどこにあるのか。子細にこの状況を見ていくと、②一つのトレンドがあることに気づく。

それは、世界の大都市に生まれている和食レストランの経営者は日本人ではなく異文化の人が多いという点、そして、日本人に違和感のないティーストの店であって、かつ外国人に受け入れられるメニューを開発している店が増えているという点だ。

トライベッカ界隈の和食レストランでも『ノブ』を除けばあとは外国人アタンクト経営の店が多い。店の名前を見れば、③日本人の感覚とはかけ離れているから一目瞭然かもしれない。イギリスでは、回転寿司の最大手『ヨー！スシ』の経営者がイギリス人だ（前掲、日経ビジネス）。二〇一三年六月、ロンドンの飲食業界の話題は、このチャーン店が発売した「ライスバーガー」の大ヒットだった。発売一週間で一万個を売り上げたこのヒット商品の中味は、「キムチ風味のサーモン」「コリアンダー風味の豆腐」等、日本人の味覚や食感、想像力からはなかなか生まれてこないものばかり。この辺にも、外国人の経営するレストランの特徴がよく表れている。

こうした店名やメニューを見ると、日本の方は〔X〕をひそめるかもしれない。

訪れてみるとわかるのだが、④最近の和食レストランの最大の特徴は、かつてのように「外国映画に出てくる典型的な古くさい日本のイメージを押しつける」ものではなくて、赤い壁、提灯、富士山の絵、着崩した着物のウエイトレスといった、西洋人おトイクリの中国と日本のウクベツがつかないワンパターではなく、世界の最先端をいくお洒落な内装で、「和食レストラン」で働くことに誇りを持つたアメリカ人の店員たちがスマートにきびきびと働いている。料理のエナヨウや食べ方の質問に対しても、彼らはアルバイトでありながらきちんと説明できる。ことサービスに関しては、日本にあるレストランの方が学ぶことも多いくらいだ。

『ヨー！スシ』の開店は一九九七年。ローリング・ストーンズの公演の照明マンだったイギリス人が、日本にツアード訪れた際に、回転ベルトの上を寿司が廻る「回転寿司」に魅了されたのが始まりとか。〔C〕、最近のトレンドは、⑤「東洋のエキゾティシズム」としてのジャパンではない。ソニー・ホンダ、トヨタ等の最新工業技術や、マンガ、ニンテンドー、アニメ等の世界が憧れるサブカルチャーが生まれた「クールな」国としてのジャパンをオニンチする世代が生んだ「和食ブーム」なのである。

（辻芳樹「和食の知られざる世界」より）

注

トレンド・・・・・流行。

ティースト・・・・・味わい。

エキゾティシズム・・・・・異国情緒。異国趣味。

問一 二重線部ア～オのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 A

C

問二 にあてはまる言葉をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

問三

X

に体の部位を表す言葉を入れ、「X

をひそめる

い。 と「X」をひそめる」という慣用表現を完成させなさい。

問四 傍線部①「この実態」とはどのようなことですか。本文中から七字で抜き出しなさい。

問五 傍線部②「一つのトレンド」とはどのようなことですか。本文中から二つ探し、それぞれ初めと終わりの五字を答えなさい。

問六 傍線部③「日本人の感覚とはかけ離れている」とは何を指して言っていますか。本文中から七字で抜き出しなさい。

問七 傍線部④「最近の和食レストランの最大の特徴」として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 過去と現在の日本がどちらも楽しめるお洒落な内装になっているということ。

イ 日本だけではなく、中国最先端のお洒落な内装デザインをも追求しているということ。

ウ アルバイトを多く使い、コストを削減することで、内装の充実に繋げているということ。

エ 世界の最先端をいくお洒落な内装で、仕事に誇りを持った店員が働いているということ。

問八 傍線部⑤「東洋のエキゾティシズム」としての「ジャパン」とはどのようなことですか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

※ カギ括弧・句読点などの記号も一字と数えます。

たんぽぼ 川崎洋

たんぽぼが
たくさん飛んでいく
ひとつひとつ
みんな
が あるんだ

ゴリちゃんは、なんにも見ないですら書いて、パントマイムみたいに一輪挿しの綿毛たんぽぼを無言でもう一度みんなに見せた。

『中の言葉は、なんだと思いますか？』
ア シツモンを書いて、わたしたちを見回した。

「知るかよ」

「詩なんてウザイよ」

「これ、点数つくの？」

大騒ぎは続いていたけど、わあわあ言う声は、しだいに、黒板に書かれた詩についてのことになつて いるようだつた。

「連想ゲームです。思い付いた言葉をぱっと言つてください。正解でなくともいいんです。思い付きが大切なんです」
ゴリちゃんの声が通るほど、①教室はいつの間にか静かになつていた。

「命」

「種」

「夢」

「仕事」

「イ キボウ」

当てられもしないのに、みんなが次々と発言した。

ゴリちゃんは「あ、いいな」とか、「すごい」とか、「なるほどねえ」とか言いながら、全部の言葉をそのまま丁寧に板書した。

わたしは、ずーっと A してた。

わたし、正解を知ってる。『ありんこ文庫』というのが近所にあって、そこのおばさんが、
ウ キヨネン、たまたま小さな子どもたちに読んであげてた詩だった。わかりやすく、楽しい詩だつたから、覚えてた。

(正解は、名前・・・・・！)

叫びそうになつたけど、やっぱり、声は出なかつた。

十人くらいが次々と発言したけど、正解は、なかつた。

②わたし、嬉しくて、胸が苦しくなつた。

「この詩は、こんなふうに続きます」

ゴリちゃんが板書した。

おーい たぼんぼ
おーい ぼほんた
おーい ぼんたぼ
おーい ぼたぼん
川におちるな

ゴリちゃんは、最初から通して読んで、
「どうですか?」と、一人一人を見回した。
わたしの目も、しつかり見つめてくれた。

③わたしの目、もどかしくて泣きそうになつたと思う。
だけど、ゴリちゃんは、だれにも当てない。だれかが手を上げるまで、

B して待つてる。

さつとハヤちゃんが手を上げた。

「正解は、名前。——当たりでしょ?」

ハヤちゃんが立ち上がって叫んだ。ほんとに嬉しそう。

「どうしてわかったの?」

「たぼんぼ、とか、ぼほんた、とか、綿毛一つ一つの名前でしょ?」

「そう、そう。でも、よくわかったわね!」

「簡単、簡単。おーいって、呼びかけるところで、わかつたんだけど、——あのね、じつはね、ぼくのお

ばさん、『ぽんた』って言うあだ名なの」

ハヤちゃんは突然④甘えた声になつた。

「げつ、おまえのおばさん、たぬきかよ」

コースケ君がからかった。

「そいいえば、たぬきの名前つて、たいていぽんただね」

なんて、ゴリちゃんもくだらないこと言って、教室は大騒ぎになつた。

和氣あいあいって感じ。つきつきの険悪なムードが、うそみたいだつた。⑤みんな、ころころ変わ

るから、なかなかついていけない。わたし、ほんと、どんくさい。

「しかし、みんな、詩人ですね」

ゴリちゃんは、⑥笑いすぎの涙を拭きながら、ピンセットで綿毛を一本一本つまんで、「はい、命」とか、「はい、きぼう」とか言いながら、一人一人にエクバ^{クバ}って歩いた。ハヤちゃんには「はい、ほんた」って。霧島さんには「はい、沈黙」って言つたみたい。

すると、みんなが、ちっぽけな綿毛を大切そうに両手で包んで受け取つて、愛おしそうに見つめてた。ユーカたちまでが・・・・・。

⑦「はい、溢れる思い」

ゴリちゃん、にこつとして、わたしには、こつそり、そう言つてくれた。
わたしのもどかしい思い、ちゃんとわかつてくれたんだと、全身に電流！

(夢じやないかな・・・・・)

わたし、優しさいっぱいのオコウケイ^{コウケイ}が信じられなくて、泣きそろになつた。

(ハヤちゃんは、「命」。シラリーは「きぼう」。コースケ君は「仕事」だつて。ふふふ、なーんか、夢、ないなあ。——ああ、「夢」つて言つたのは、ユーカ・・・・・)

わたしは国語の授業が終わつてからも、教室の隅の席についたまま、バリアーも張らずに「たんぽぽ」の詩とみんなの発言を何度も思ひ返していた。

たんぽぽの綿毛一本一本を、風に飛ばされないようにそつと両手で受け取るみんなの仕草と表情は、別人のようになつた。

(ほんとは、みんな、優しいのかな・・・・・)

霧島さんやマツさんは、相変わらず黙りこくつて無表情だつたけど、わたし、一瞬、人間たちを信じられるような気分になつて、その日一日、しあわせだった。

(後藤竜二「12歳たちの伝説1」より)

問一 二重線部ア～オのカタカナを漢字に改めなさい。
問二 □A・□B にあてはまる言葉をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

A にこにこ イ ムカムカ ウ ひやひや

B エ ドキドキ

問三 傍線部①「教室はいつのまにか静かになつていた」とありますのが、それはどうしてですか。その理由を十五字以内で答えなさい。

問四

傍線部②「わたし、嬉しくて、胸が苦くなつた」とありますが、それはどうしてですか。その理由として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A みんなが正解することができますが、それほどどうしてですか。その

理由として適切なものを次の中から選ぶことができず、正解を知っているのが自分だけだと分かったから。

イ みんなが正解することができますが、それほどどうしてですか。その

理由として適切なものを次の中から選ぶことができず、正解を知っているのが自分だけだと分かったから。

ウ みんなが正解できなかつたことを喜んでしまつた自分に後悔したから。

エ 正解を知っている自分が、いつもゴリちゃんから指名されるのか期待して待つているから。

問五 傍線部③「わたしの目、もどかしくて泣きそうになつてたと思う」とありますが、それはどうし

てですか。その理由を二十五字以内で答えなさい。

ア 傍線部④「甘えた声になつた」とありますが、このときの心情として適切なものを次の中から選

び、記号で答えなさい。

ア てれくさき

イ みじめさ

ウ うれしさ

エ かなしさ

問七 傍線部⑤「みんな、ころころ変わる」とありますが、何から変わるのですか。適切な言葉を本文

中から六字で抜き出しなさい。

問八

傍線部⑥「笑いすぎの涙」とあります、涙を流すほど笑った理由として適切なものを次のなか
ら選び、記号で答えなさい。

ア すぐに雰囲気が変わる子どもたちにあきれてしまつたから。

イ みんなの答えが子どもらしくてかわいかつたから。

ウ ハヤちゃんの甘えた声がおもしろかつたから。

エ おばさんのあだ名の話でみんなで盛り上がり、楽しかったから。

傍線部⑦「『はい、溢れる思い』とあります、どうして「わたし」にはこの言葉を伝えたので
すか。その理由を解答欄の空欄にあてはまるよう二十字以内で答えなさい。

【解答欄】「わたし」から、（ ）思いが溢れないと感じたから。

問九